

## 第 7 回日韓著作権協議の結果概要について

平成 26 年 1 月 31 日  
文化庁長官官房国際課

1. 日 時:平成 25 年 12 月 12 日(木)
2. 場 所:文化庁会議室
3. 出席者

日本側:文化庁国際課 佐藤課長 著作権課著作物流通推進室 山中室長 ほか 4 名  
韓国側:韓国文化体育観光部著作権政策課 Keum, Gi hyung 課長, 韓国著作権委員会法務政策調査課 KIM, Hye Chang 課長 ほか 3 名

## 4. 概要

(1)日本の著作権等管理事業制度について

・韓国側より, 日本の著作権等管理事業制度について質問があった。日本側からは, 指定著作権等管理事業者における使用料規程の協議及び裁定, 文化庁の監督権限, 管理事業者の登録状況等について説明を行った。

(2)韓国における著作権の集中管理制度について

・日本側より, 放送事業者から, 日本の楽曲も含め適切な利用曲目データが韓国音楽著作権協会に提供されるよう要請を行った。これに対し, 韓国側からは, 民間団体間のやり取りに直接介入することは適切でないが, 文化体育観光部は, デジタル著作権取引所などを通して正確なデータを提供できるように努めているという回答があった。

・日本側より, 韓国において音楽著作権の管理団体を複数化するとともに, 支分権ごとに委託先を選択可能とする制度改正を予定していることを受け, 海外音楽著作権集中管理団体との演奏権に係る使用料の相互徴収に支障を来さないよう留意してほしい旨の要請を行った。韓国側からは, 日本側の懸念事項は理解したので, 正確な情報に基づいて徴収と分配ができるよう努力していきたいという回答があった。

(3)韓国におけるインターネット上の著作権侵害対策について

・日本側より, 以下の質問を行った。

- ①インターネット上で著作権侵害が繰り返し行われた場合にアクセスを遮断する, いわゆるスリープストライク制度の運用状況
- ②トレントやクラウドサービスを利用した著作権侵害への対策の実施状況
- ③著作権法違反サイトに対するサイトブロッキングの適用

・韓国側からは, 以下のとおり回答があった。

- ①韓国のスリープストライク制度は, ネット上で著作権侵害が繰り返し行われた場合, アップロードを行った者のアカウントや, 掲示板を停止することができるが, 停止に当たっては韓国著作権委員会での審議が必要であり, 3 回以上の警告後に自動的に停止されるわけではない。
- ②クラウドサービスを利用した侵害対策については研究を進めているところである。
- ③サイトブロッキングは著作権法違反サイトにも適用される。

(4)その他

・日本側より, 韓国におけるクラウドサービスにおける著作権の考え方, フェアユースの適用状況, 韓国著作権委員会が運営し, 権利者不明の作品の情報を掲載している「ファインドコピーライト」サイトの運用状況等について聴取した。

## 第5回日韓著作権フォーラムに関する報告

平成26年1月31日  
文化庁長官官房国際課

### 1. 概要

文化庁と韓国文化体育観光部とは、平成21年度より、日韓間の著作権に係る情報共有、問題意識共有及び関係強化を目的として、これまで4回の「日韓著作権フォーラム」を実施してきた。

5回目となるフォーラムは、平成25年12月11日に、東京（京王プラザホテル）にて「社会の変化に対応した著作物の利用と適切な保護」をテーマに開催された。フォーラムでは、韓国側講演者より、電子書籍の保護と利用の状況、デジタル著作権取引所の活動、韓国音楽著作権協会における海外著作権ビジネス及び著作権管理について紹介され、その後の質疑応答により日韓の関係者による意見交換が行われた。

本フォーラムは、平成23年9月6日に日韓間で締結された「著作権及び著作隣接権分野における連携強化に関する覚書」において、その開催が両国間での合意事項とされているものである。

### 2. 主催

文化庁、韓国文化体育観光部（協力：公益社団法人著作権情報センター、韓国著作権委員会）

### 3. プログラム概要

<日時>平成25年12月11日（水）14:00～17:10

<場所>京王プラザホテル エミネンスホール

<講演プログラム>

- 講演1：「電子書籍の保護と利用－著作権の観点から－」  
講演者：KIM, Hye Chang（韓国著作権委員会政策調査課長）
- 講演2：「デジタル著作権取引所の活動」  
講演者：Keum, Gi hyung（韓国文化体育観光部著作権政策課長）
- 講演3：「海外著作権ビジネス及び著作権管理－KOMCAを中心に－」  
講演者：Son, Do Joon（韓国音楽著作権協会仁川事務所長）
- 質疑応答  
ファシリテーター：張睿暎（東京都市大学メディア情報学部准教授）